

県央・湘南の 環境と共生する 都市づくりNEWS

新幹線新駅の実現を目指す、環境共生の都市づくり通信

No.45

平成28年11月



(新横浜駅付近を走行中のN700A系新幹線)

講演会「2つの超高速鉄道の『使い方』」を開催します。

東海道新幹線新駅・リニア中央新幹線・相模線の3同盟会は、県央・湘南地域の鉄道整備を連携して促進していくため、共同で講演会を開催します。

日時：平成29年1月13日(金) 13:30～15:30(開場13:00)

会場：海老名市文化会館 小ホール(JR相模線、相鉄線、小田急線「海老名駅」から徒歩5分)

講演者：波床 正敏 氏(大阪産業大学工学部教授)

主催：神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会
リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会
相模線複線化等促進期成同盟会

入場無料！



波床 正敏 氏

●申込方法 ※平成28年12月22日(木)締切

次のいずれかの方法でお申し込みください。(定員 330名)

①新駅同盟会ホームページからフォームメール

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p1082996.html>

②電話 (受付時間:平日8:30～17:15)

045-210-6033(事務局:県環境共生都市課直通)

※応募者多数の場合は抽選(抽選に外れた場合のみ事務局から連絡させていただきます。)

●必要事項

・代表者氏名

・参加人数

・電話番号

・お住まいの

市区町村名(任意)

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

神奈川県・相模原市・平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・厚木市・伊勢原市・海老名市・座間市・綾瀬市・寒川町・県市長会・県町村会・県商工会議所連合会・県商工会連合会

県央・湘南地域の発展を担う2つの超高速鉄道

県土の均衡ある発展に向け、県央・湘南地域において、全国との交流・連携の窓口となる、リニア中央新幹線県内駅を核とする「北のゲート」と、誘致を目指す東海道新幹線新駅を核とする「南のゲート」の形成に取り組んでいます。

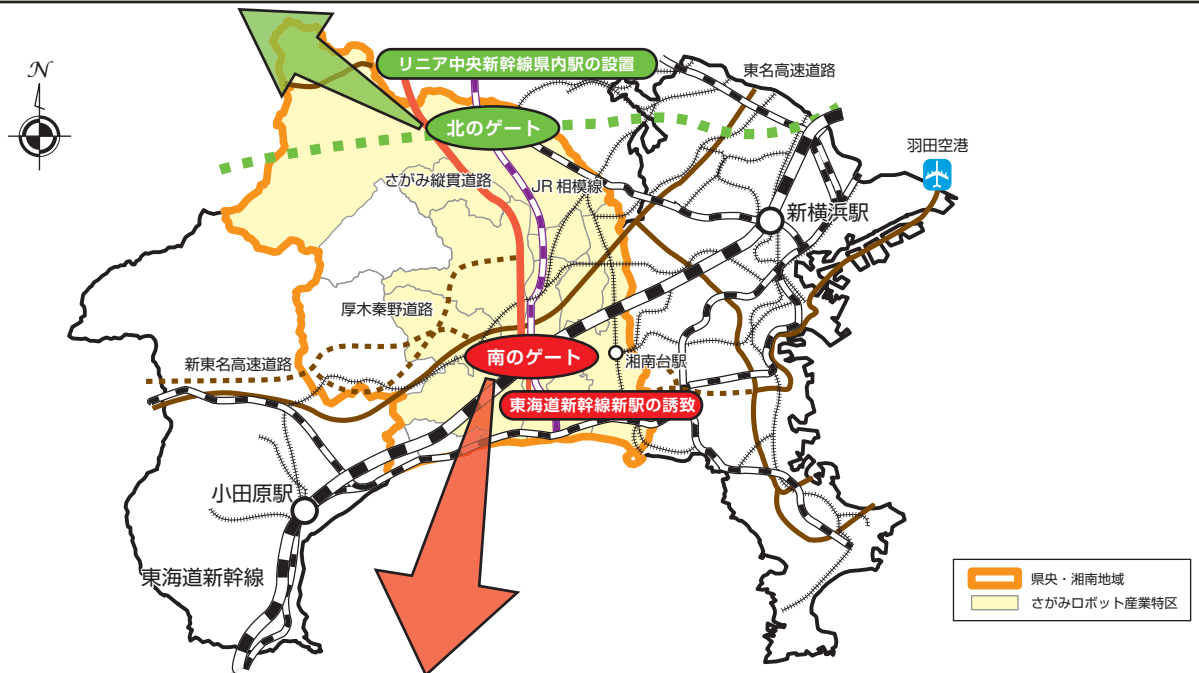
南北2つのゲートを繋ぐJR相模線の複線化等の南北軸の強化により、県央・湘南地域の一体性と利便性の向上、新たな活力の創造を目指しています。

リニア中央新幹線県内駅の設置（北のゲート）

リニア中央新幹線は、時速500kmで走行する超電導リニアを導入して、品川駅を起点とし、名古屋駅を経て、大阪市を終点とする延長約438kmの新幹線です。

平成26年10月に、品川・名古屋間の工事実施計画が認可され、神奈川県内では、相模原市緑区の橋本駅南側地下に駅が設置されることとなりました。

現在、リニア中央新幹線は開業に向けて、南アルプストンネルや品川駅など、沿線各地で工事が進められています。



東海道新幹線新駅の誘致（南のゲート）

寒川町倉見地区に誘致している新駅の実現により、全国との交流連携の窓口となる「南のゲート」が形成され、さがみ縦貫道路などとともに、東西方向、南北方向の交通の結節地域となります。

現在、寒川町と相模川を挟んだ対岸の平塚市において、新駅の受け皿となるツインシティのまちづくりが進められています。



新横浜駅～小田原駅間の距離は約51.2km。これは、東海道新幹線の中で2番目に長い駅間距離となります。その中間に位置する寒川町倉見地区に、東海道新幹線の新駅を誘致しています。



表紙の写真～N700A系新幹線（2013年デビュー）～

N700A系は、N700系新幹線（2007年にデビュー）の改良車両で、ブレーキ性能の向上や、ATC（自動列車制御装置）を活用した定速走行装置の搭載を実現したほか、乗り心地や環境性能も進化しています。また、2015年には、東海道新幹線区間で最高速度285km/hを実現しています。

車体側面の「A」のマークが目印です。

事務局

神奈川県 県土整備局 都市部 環境共生都市課

電話045-210-6033 FAX045-210-8879 E-mail (下記ホームページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。)

期成同盟会ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p19860.html>
同盟会についてもっと詳しく知りたい方は、ホームページをご覧ください！

新幹線新駅同盟会

検索